



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

発行:2010年4月15日
発行責任者: 特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

理事長として10年の節目を迎えて

～鵬友会今年度の目標と取り組み～

特定医療法人社団鵬友会 理事長 児玉 喜直



私が平成12年4月に特定医療法人社団鵬友会の理事長職を拝命してから今年の3月末日で丁度10年になります。この様な身にあまる大役を10年もの長きにわたって、務めてこられたのは、偏に多くの方々の御芳情や御支援あつての事と、改めて厚く御礼申し上げます。

理事長とはいえ、私は湘南泉病院の院長を兼任してきましたので、理事会と社員総会に対応するのが精一杯で、とても法人の他の施設（新中川病院、横浜ほうゆう病院、老健施設阿久和鳳荘、あしたばメンタルクリニック）に目を配る事は出来ず、申し訳なくも各施設にお任せの状態でありました。しかし、これで良かったのではと内心思っているところです。というのは、鵬友会としての目標や理念に基づきながらも、各々まったく異なる性格の施設が、施設長の責任下で自由に業務をこなして頂いた結果、それぞれが特色を生かした発展を遂げてくれたと思うからです。感謝と共に、全施設職員のみなさんの健闘を讃えたいと思います。

さて、今年も医療状況は厳しく、この地域で患者さんにより質の高いサービスの提供を目指すには、いくつか乗り越えなければならない課題があります。そこで本年度の鵬友会としての、特に主要な目標を確認しておきます。

まず第一に、当法人の湘南泉病院、新中川病院、横浜ほうゆう病院の3病院全てが機能評価を取ることを目指したいと思います。昨年度取得の湘南泉病院に続いて、残りの2病院も準備に入りつつあります。機能評価を取るという事は、自分では充分できていると思っている事も自己満足に過ぎないかどうか、外部のクールな視点から判断してもらう事です。これは言うは易く行は難しですが、目標を持って進んで行けば、みんなの熱意が必ず可能にする事と思います。

第二に、各施設や各セクションとも、お互いを大切にして自分たちの仕事場をより魅力あるものに、その仕事をみんなで守っていきましょう。

当法人は4月から3病院、2クリニック、1施設とまた組織が拡大しました。各施設それぞれ個性あふれる職場ですが、組織が大きくなればなるほど意思の疎通は難しくなります。だからこそ、きめ細かい医療・福祉サービスをもって職場を守っていくには、何と言っても地域との連携、そして施設同士の、職員同士の強い連携が欠かせません。時々“我々共通の目標は何だったのか”に戻って考えてみる事も大切な事かと思えます。

第三に、専門職としての技術と知識の向上をはかり、我々一人ひとりが、余人に代えられない人材を目指したいと思います。それが全ての目標達成に生かされていく事と思えます。

それでは今年度も、みんなで、楽しく、やってみましょう！

国家試験 合格おめでとう!



看護師

新中川病院 熊沢 孝子

「家族の協力と病棟スタッフの励ましで、2年間の学生生活と病院の仕事を両立させながら、頑張ることができまし



作業療法士

横浜ほうゆう病院 富岡 美香

「初めての職場で緊張していましたが、これからよろしくお願いします。」



精神保健福祉士

横浜ほうゆう病院 長谷川 倫子

「皆様のおかげで合格することができました。ありがとうございます。これからも頑張ります。」



防災訓練

新中川病院

平成22年3月5日(金)午後1時30分から新中川病院において防災訓練を実施しました。当日は病院職員に加え、隣接する特別養護老人ホーム希望苑の方や泉消防署の隊員の方ら50名程が参加しました。内容は、火災発見時の伝達、初期消火、患者様の避難誘導といった流れを確認するとともに、今回は屋上からはしご車を使って救助するという、より内容の濃い訓練も行いました。“災害は忘れた頃にやってくる”とはよく言ったものです。本番はあってはならないですが、万一の時に備え、日頃の訓練はこれからも欠かさず行っていききたいと思います。



【松田事務部長の講評】

【はしご車】



【初期消火】



【避難・救護】



【屋上救助】



第13回 市民向け医療・福祉講座 開催します!



(仮称)「一般病院が取り組む在宅医療について」
～在宅での看取りを支援する～

参加費
無料!

講師: 湘南泉病院 龍瀧医師

平成22年6月19日(土) 13:00～ 湘南泉病院 4階 会議室

お申込み/お問い合わせ・・ 朋友会法人本部 福島 tel:045-810-0331 fax:045-810-0371